

令和4年度 つかいみちを選べる赤い羽根募金 活動団体エントリー申請内容

①

法人・団体名	NPO法人 学習塾HOPE (平成24年1月団体設立、28年5月法人化) (今回で8年目のエントリー申請)	
設立目的	学習意欲がありながら生活困難等により学習の機会に恵まれない児童・生徒を対象として、無料で学習指導を行いつつ、子どもたちに寄り添う。	
活動内容等	小中学生・高校生に個別学習を基本とする無料学習指導を行う。また生徒への人間教育、保護者の相談援助、講師研修会等も行う。(年間支出規模 537 万円)	
解決したい課題	いわゆる「貧困の連鎖」を防止する。学習指導を通じて生徒が将来に希望を持てるように支援する。居場所づくりに工夫を加え、生活困窮支援の一助とする。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> 入塾料、授業料を無料とし、教材の負担も軽減する。 学習に加え、人づくり支援についても指導方法を工夫する。 対象となる子がいる地域に教室を根付かせるよう努める。 居場所づくりのため「食育」と「学習」との連携を工夫する。 	必要金額(概算)
		おおよそ 55万円

②

法人・団体名	あつまれ前橋スポット (平成29年4月設立) (今回で2年目のエントリー申請)	
設立目的	子どもの孤食・欠食を防ぎ、地域で子どもを支える居場所となる。子どもの諸問題(学習、貧困、いじめ、自殺、DVなど)の解決を手助けする。	
活動内容等	月1回の子どもの居場所運営(学習支援、食育、読み聞かせ、季節行事など) 現在は感染症予防のためフードパントリー形式で実施 (年間支出規模 141 万円)	
解決したい課題	孤立若年ファミリー、ひとり親家庭の困窮。子どもの諸問題(学習、貧困、いじめ、自殺、DVなど)。ひとときの心の余裕のサポート。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> 弁当、食材、おやつ、日用品などを無料定期配付。 子どもの諸問題について専門機関へつなぐ。 メディアを通じて情報発信していく。 孤立若年保護者の相談実施。 	必要金額(概算)
		おおよそ 40万円

③

法人・団体名	子どもワクワク食堂実行委員会 (平成28年7月設立) (今回で2年目のエントリー申請)	
設立目的	子ども食堂を通して、子どもも大人もひとりぼっちにしないこと。 みんながワクワクするようなあたたかい居場所をつくること。	
活動内容等	月1回の子ども食堂開催。週1回の地元高校ランチ・パン販売。学習支援団体へ弁当配達、生活困難世帯への食料配付、拠点運営 (年間支出規模 132 万円)	
解決したい課題	貧困や生きづらさを抱える子どもたちが安心して自己表現できる場が必要。子育て世代の「話したい・自分の時間がほしい」を叶え、心のゆとりを生み出す。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> 第三の居場所の創出及び「ワクワクハウス」の運営 子どもたちが自ら考え行動するPDCAサイクルを支援する 託児、ママのおしゃべり会、休息時間の確保などをワクワクハウスで行う。 	必要金額(概算)
		おおよそ 40万円

④

法人・団体名	特定非営利活動法人 iitoko (平成26年5月団体設立、30年10月法人化) (今回で8年目のエントリー申請)	
設立目的	子どもや子どもを取り巻く大人に対して、孤立防止及び子育て支援に関する事業等を行い、地域の活性化と福祉の向上に寄与する。	
活動内容等	子どもや子育て中の母親又は家族、地域の人々の心休まる居場所を提供する。子どもの発達に関する相談、情報提供、イベント・研修等実施。(年間支出規模 152 万円)	
解決したい課題	障害児を育てる母親や家族への理解を深め地域(学校、施設、店、隣近所等)と連携し、特に母親(家族)の孤立化を防ぐ。	
解決する方法	・安心して集える居場所(拠点)の存続 ・地域、学校、行政、企業等の繋がりを深めるとともに、障害理解を促す勉強会やイベントを開催する。	必要金額(概算)
		およそ 50万円

⑤

法人・団体名	群馬県ホームヘルパー協議会 (昭和46年8月設立) (今回で6年目のエントリー申請)	
設立目的	自らの職務能力と職業倫理の向上を図るとともに、ホームヘルパーの社会的地位の向上を図る。	
活動内容等	在宅福祉サービスの提供及び利用者の権利擁護のための研修会、調査研究、普及啓発、関係機関等との連携など (年間支出規模 502 万円)	
解決したい課題	会独自で創設した「認定介護技術トレーナー」による地域の介護者等への介護技術の普及。人材確保及び定着の促進。	
解決する方法	・介護する地域住民等に対し、市町村・自治会町内会・事業所等と連携して、利用者の状況に応じた介護技術講座を開催。 ・Web等を活用した啓発活動を行い、人材確保と定着を図る。 ・トレーナーの資質向上のための研修会の開催。	必要金額(概算)
		およそ 100万円

⑥

法人・団体名	一般社団法人ハレルワ (平成27年6月団体設立、令和4年2月法人化) (今回で2年目のエントリー申請)	
設立目的	LGBTQなどのマイノリティへの支援及び多様性を認め合う社会の実現への貢献。	
活動内容等	当事者の交流・居場所づくり・相談支援事業、講演やイベント実施等の啓発活動、行政組織・他団体と連携した活動 (年間支出規模 353 万円)	
解決したい課題	LGBTQ+当事者の自己肯定感低下とメンタルヘルス等健康リスク増。教育・就労・法律・医療・地域・福祉などさまざまな場面での差別。相談窓口もない。	
解決する方法	・LGBTQ+当事者に向けた交流・居場所づくり・相談支援で、自己肯定感の向上と生きづらさの解消を目指す。 ・多様性、人権に関する啓発活動の継続実施で、マイノリティの人が生きやすい社会の実現を目指す。	必要金額(概算)
		およそ 100万円

⑦

法人・団体名	特定非営利活動法人 群馬ダルク (平成19年2月設立) (過去6回エントリー、4年ぶりのエントリー申請)	
設立目的	薬物依存症などの依存症を抱える方、及びその家族に対して、回復を支援し、薬物乱用の予防に対する普及啓発、相談援助支援を行い、地域福祉の増進に寄与する。	
活動内容等	依存症リハビリ施設・障害福祉事業所の運営、生活支援、心理相談、教育・啓発活動、依存症治療に関する研究・研修 (年間支出規模 4,640 万円)	
解決したい課題	長期間の薬物等使用による依存症以外の疾患の併発（重症化）と、それを原因とした治療の長期化、高齢化当事者が課題。適切な回復支援プログラムが少ない。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・北米の依存症支援施設にて先進治療プログラム研修 ・プログラムの翻訳、日本の文化に合う形に改良・開発 ・群馬ダルクでの試行と、各地ダルクや矯正施設、医療機関等へ提供準備 	必要金額(概算) およそ 90万円

⑦

法人・団体名	子どもワクワク食堂実行委員会 (平成28年7月設立) (今回で2年目のエントリー申請)	
設立目的	子ども食堂を通して、子どもも大人もひとりぼっちにしないこと。 みんながワクワクするようなあたたかい居場所をつくること。	
活動内容等	月1回の子ども食堂開催。週1回の地元高校ランチ・パン販売。学習支援団体へ弁当配達、生活困難世帯への食料配付、拠点運営 (年間支出規模 132 万円)	
解決したい課題	貧困や生きづらさを抱える子どもたちが安心して自己表現できる場が必要。子育て世代の「話したい・自分の時間がほしい」を叶え、心のゆとりを生み出す。	
解決する方法	<ul style="list-style-type: none"> ・第三の居場所の創出及び「ワクワクハウス」の運営 ・子どもたちが自ら考え行動する PDCA サイクルを支援する ・託児、ママのおしゃべり会、休息時間の確保などをワクワクハウスで行う。 	必要金額(概算) およそ 40万円